



福岡医発第 1611 号 (地)
令和 3 年 9 月 2 日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会
会 長 松 田 峻一良
(公 印 省 略)

肺炎球菌ワクチンの出荷調整の解除について (更新情報)

高齢者の肺炎球菌感染症の定期的予防接種に用いられる肺炎球菌ワクチンの供給見通しについては、令和 2 年 12 月 11 日付福岡医発第 2387 号 (地) 「肺炎球菌ワクチン (販売名: ニューモバックス NP) の供給見通しについて (更新情報)」等をもってご連絡申し上げました。

肺炎球菌ワクチンについては出荷量の調整が行われてきたところですが、今般、MSD 株式会社から、安定供給の目処が立ったことから令和 3 年 8 月下旬より出荷量の調整を解除する連絡があった旨、厚生労働省より日本医師会を通じて周知依頼がありました。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了解いただき、貴会会員への周知方よろしく願いいたします。

記

ニューモバックス NP の供給見通しについて

【令和 3 年 8 月時点の卸への供給実績 () 内は見込み量】

	4 月～6 月	7 月～9 月	10 月～12 月	1 月～3 月	合計
2019 年度	35.2 万本	27.2 万本	47.3 万本	49.7 万本	159.5 万本
2020 年度	47.5 万本	59.5 万本	51.4 万本	55.3 万本	213.7 万本
2021 年度	26.7 万本	(19.7 万本)	(79.3 万本)	(61.2 万本)	(187 万本)
2022 年度	(32.6 万本)	(24.6 万本)	(48.8 万本)	(64.0 万本)	(170 万本)

小郡三井医師会より

予防接種担当理事 橋本朋也
会長 島田昇二郎

(健Ⅱ268F)
令和3年8月19日

都道府県医師会
感染症危機管理担当理事 殿

日本医師会感染症危機管理対策室長
釜 菫 敏

肺炎球菌ワクチンの出荷調整の解除について
(更新情報)

高齢者の肺炎球菌感染症の定期の予防接種に用いられる肺炎球菌ワクチンの供給見通しについては、令和2年12月1日付(健Ⅱ363F)「肺炎球菌ワクチン(販売名:ニューモバックス NP)の供給見通しについて(更新情報)」等をもってご連絡申し上げました。

肺炎球菌ワクチンについては出荷量の調整が行われてきたところですが、今般、MSD株式会社から、安定供給の目処が立ったことから令和3年8月下旬より出荷量の調整を解除する連絡があった旨、厚生労働省より都道府県衛生主管部(局)宛て別添の事務連絡がなされ、本会宛て周知方依頼がありました。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知のうえ、郡市区医師会及び会員に対する情報提供についてご高配のほどお願い申し上げます。

記

ニューモバックス NP の供給見通しについて

【令和3年8月時点の卸への供給実績(())内は見込み量】

	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	合計
2019年度	35.2万本	27.2万本	47.3万本	49.7万本	159.5万本
2020年度	47.5万本	59.5万本	51.4万本	55.3万本	213.7万本
2021年度	26.7万本	(19.7万本)	(79.3万本)	(61.2万本)	(187万本)
2022年度	(32.6万本)	(24.6万本)	(48.8万本)	(64.0万本)	(170万本)

事 務 連 絡
令和3年8月17日

公益社団法人日本医師会 御中

厚生労働省健康局健康課

肺炎球菌ワクチンの出荷調整の解除について
(更新情報)

標記について、今般、別添のとおり、都道府県衛生主管部（局）等あてに事務連絡を発出したところです。

関係各位におかれましては、別添について、貴管下の会員各位に対し周知するとともに、ワクチンの円滑な定期接種の実施について、関係者との連携に努めていただくようお願いします。

事 務 連 絡
令和 3 年 8 月 1 7 日

各 { 都道府県
市 町 村
特 別 区 } 衛生主管部（局） 御中

厚生労働省健康局健康課

肺炎球菌ワクチンの出荷調整の解除について
(更新情報)

高齢者の肺炎球菌感染症の定期的予防接種に用いられる肺炎球菌ワクチン（ニューモバックスNP及びニューモバックスNPシリンジ）の供給見通しについては、「肺炎球菌ワクチン（販売名：ニューモバックスNP）の供給見通しについて」（令和 2 年 9 月 28 日付健健発 0928 第 1 号厚生労働省健康局健康課長通知）及び「肺炎球菌ワクチンの供給見通しについて（更新情報）」（令和 2 年 12 月 1 日付厚生労働省健康局健康課事務連絡）においてお示ししたところです。

肺炎球菌ワクチンについては、これまで、発注量が供給量を上回る見込みであったことから、出荷量の調整が行われてきたところですが、今般、製造販売業者である MSD 株式会社から、肺炎球菌ワクチンの安定供給の目処が立ったことから、令和 3 年 8 月下旬より、出荷量の調整を解除するとの連絡がありましたので、お知らせします。

引き続き、肺炎球菌ワクチンの円滑な定期接種の実施について、ご協力いただきますようお願いいたします。

記

肺炎球菌ワクチンの供給見通しについて

MSD 株式会社によると、令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）流行の影響によるものと想定される肺炎予防に対する意識の高まりを受け、ニューモバックスNPの需要が昨年度を上回るとの予想のもと、出荷調整が行われました。しかしながら、現在、当該需要の高まりは落ち着いており、卸売販売

業者への供給量としては、半期分程度の在庫を保有しているとのこと。今後、需要の大幅な変動がなければ、需要を満たす十分な供給ができる見込みであることから、今般、出荷量の調整が解除されました。

【令和3年8月時点の卸への供給実績又は見込み】

	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	合計
2019年度	35.2万本	27.2万本	47.3万本	49.7万本	159.5万本
2020年度	47.5万本	59.5万本	51.4万本	55.3万本	213.7万本
2021年度	26.7万本	19.7万本※	79.3万本	61.2万本	187.0万本
2022年度	32.6万本	24.6万本	48.8万本	64.0万本	170.0万本

□：供給実績、 □：供給見込み

※現在の需要の状況から、供給量は減る見込み。

医療機関等におかれましては、引き続き、必要量に見合う量の肺炎球菌ワクチンを購入いただくなど、肺炎球菌ワクチンの円滑な定期接種の実施について、ご協力をお願いします。